

BORDERLESS IR CO., LTD

ANNOUNCES NEWSLETTER

株式会社ダイキアクス(4245 東証1部)
2020年12月期第2四半期決算概要

2020年8月14日東京

「2020年12月期第2四半期は営業利益、経常利益、四半期純利益とも大幅増益。COVID-19に対応し全体的な利益改善を進める」

決算概要

○当第2四半期連結累計期間の同社グループを取り巻く経営環境は、国内外ともに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な拡がりで悪化、業界では、営業活動の制限により受注が先延ばしとなる等の影響が出た。現状、2020年12月期の連結業績予想については「未定」としている。

○第2四半期連結累計期間における売上高は174億43百万円(前年同期比-2.3%)と前年同期と比較して若干の減少だが、全般的な利益改善を進めた結果、売上総利益は37億92百万円(前年同期比+13.8%)、営業利益は6億82百万円(前年同期比+35.5%)、経常利益は7億57百万円(前年同期比+31.5%)となった。特別損益においては、子会社株式売却益の計上や減損損失の計上があった。また、非支配株主に帰属する四半期純利益については連結子会社の株式会社シルフィードにおける種類株主への年4.8%の優先配当が前第3四半期連結会計期間から計上されている。結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億81百万円(前年同期比+31.4%)となった。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前年同期比30%以上の増益を果たしている。

○環境機器関連事業は、浄化槽・排水処理システムの売上高は前年同期比減少。前年同期は国内売上高では、大型案件の工事進行基準適用により一定程度の売上高を計上していたが、当期はそれに見合う売上高がなく、海外売上高も中国での新型コロナウイルス感染拡大が他地域に先んじて始まったことから景況悪化の影響を大きく受けた。ストックビジネスとしてのメンテナンス事業は、前年同期と比べ堅調に推移、上水事業エスコ収入については顧客の使用水量減少等により前年同期並みの推移にとどまった。結果、環境機器関連事業の売上高は86億53百万円(前年同期比-9.1%)、セグメント利益(営業利益)は、5億84百万円(前年同期比+19.4%)となった。

○住宅機器関連事業は、増収増益となった。建設関連業者等売上は、関連するサプライヤーの部品生産拠点が中国国内に多く、商品の入荷遅延があったが、代替商品への切り替えにより対処できた。また、店舗設備の取り換え需要等が発生したことにより、前年同期と比べ堅調に推移した。住機部門工事は前期と比べ中大型案件が少なかったものの、2019年9月に連結子会社となった株式会社富士原冷機の売上取込があり、前年同期と比べ堅調に推移した。ホームセンターリテール商材は既存店への販売が減少、ECビジネスにおいては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、エンドユーザーへの現地調査等の営業活動が停滞した。結果、住宅機器関連事業の売上高

は73億79百万円(前年同期比+4.5%)、セグメント利益(営業利益)は、2億66百万円(前年同期比+31.0%)となった。

○再生可能エネルギー関連事業は、太陽光発電に係る売電を順次開始し前年同期比大幅増。当第2四半期連結会計期間末日時点で127ヶ所の発電所で発電を行っており、残り3ヶ所を残すのみとなった。バイオディーゼル燃料事業及び小型風力発電機関連事業は、前年同期と比べ減少した。結果、再生可能エネルギー関連事業の売上高は、4億45百万円(前年同期比+46.2%)、セグメント利益(営業利益)は、1億82百万円(前年同期比+70.0%)となった。

○その他の事業は、土木工事業において、当期は大型案件の完成があったが、工事進行基準により売上の大部分を前連結会計年度末までに計上、それに見合う大型案件の工事進捗率が遅れていることから減収となった。土木事業を営む株式会社DADは、当第2四半期連結会計期間末日をみなし売却日として他社へ譲渡した。家庭用飲料水事業は、前年同期と比べ堅調に推移した。この結果、その他の事業は売上高9億64百万円(前年同期比-0.3%)、セグメント利益(営業利益)は98百万円(前年同期比+12.3%)となった。

○財政状態に関しては、子会社である株式会社DADの全株式を譲渡したことにより流動資産、固定資産、流動負債が減少した。また太陽光発電に係る売電事業及び小型風力発電事業に係る設備投資を資金使途としたグリーンボンド(適格機関投資家限定の無担保社債)を発行したことにより、固定負債が増加した。

株式会社ダイキアキス(4245 東証1部) (<http://www.daiki-axis.com/index.html>)

2020年12月期第2四半期決算短信については、こちらをご参照ください。

→ <http://www.daiki-axis.com/ir/info/index.html>

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

リリースに関する照会先

Borderless IR 株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

TEL 03-4588-6706 担当: 福田 徹

お問い合わせ <http://b-ir.co.jp/japanese/contact.php>

Borderless IR は、国内・海外向けIR情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メールマガジン等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニュースレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外IR支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。